

最適な道路管理方策の提案

テーマ	道路管理、維持管理
キーワード	道路管理方策、管理水準、管理体制、管理設備

安全快適な道路管理

安全で快適な道路環境を提供するためには、適切な管理水準のもとで、必要となる管理体制、管理設備の構築が重要です。

一方、道路管理者は、近年の道路維持管理費縮小に伴い、限られた予算の中で道路管理を実施していかなければならない局面にあります。

また、一部の道路管理者は新直轄道路や長大トンネルを含む道路等、これまでとは異なる道路運営に対する管理が求められています。

当社は、現状における道路管理の問題・課題等を明確にした上で、既設及び新設の道路に対して投資効果最大となる道路の管理方策を提案します。

道路管理上の課題検討

安全で快適な道路管理を実現するために、対象路線の路線特性・地域特性・管理現況を整理し、道路管理上の課題を検討します（必要に応じて、類似路線の現況を参考にします）。さらに、これらの課題に対して適切な管理水準、管理体制、管理設備を検討し、最適な道路管理方策を提案します。

なお、これらの検討は、市町村道から高規格幹線道路など、あらゆる規格の道路を対象とします。

対象路線の現況整理

路線特性(交通特性、道路特性・ネットワーク)

地域特性(気象特性、災害特性、社会特性)

管理現況(既往の管理体制・拠点・設備)

対象路線の課題検討

類似路線の
管理現況の整理

対象路線の管理方策検討

管理水準(パトロール頻度、清掃・除草頻度、雪氷対策 等)

管理体制(必要人員、管理拠点、連絡体制、必要機械・機材 等)

管理設備(情報設備、トンネル防災設備、電気設備、機械設備 等)

※ () 内は整理・検討項目の一例

日本工営株式会社

お問合せ

内容に関するご質問は、以下のページからお問い合わせ下さい。

URL <http://www.n-koei.co.jp/contact/>

技術ポイント

道路管理事務所の現況（体制・管轄区域・監視システムの状況等）や、緊急時における道路管理事務所と周辺の警察・消防など、関係機関との連携を考慮し、管理水準・管理体制・管理設備の検討を実施します。

1. 管理水準の検討

管理水準の検討は、それぞれの検討項目で以下の点を考慮しながら実施します。

項目（例）	検討の視点（例）	
パトロール頻度	路線特性	交通量、設計速度、道路の改良状況（路面状況等）
	地域特性	危険箇所の有無、沿道地域の土地利用状況
	管理現況	現況のパトロール頻度、沿道の出入り制限の有無
清掃・除草頻度	路線特性	道路機能、交通量、塵埃の発生量
	地域特性	地域及び沿道状況
	管理現況	現況の清掃・除草頻度
雪氷対策	路線特性	交通量、代替路線の有無、緊急輸送道路の指定の有無
	地域特性	過去の降雪量、積雪深、気温、沿道状況
	管理現況	現況の雪氷対策状況（除雪出動基準等）

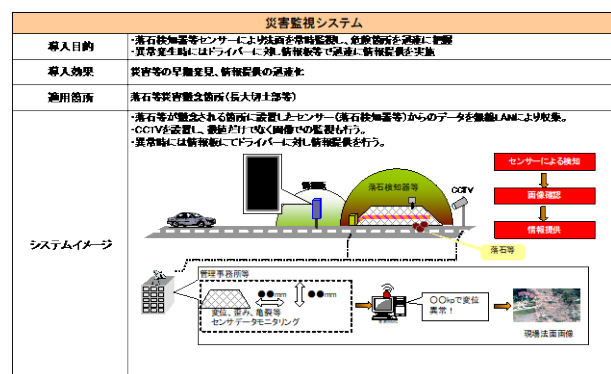
2. 管理体制・管理設備の検討

管理水準の検討結果をもとに、対象路線の効率的な日常管理や、突発的なリスク（事故、自然災害等）に対応可能な管理体制を検討します。また、トータル的な道路管理を見据えた情報の収集・提供、防災などに必要となる管理設備について検討します。

管理体制・管理設備は、ICT技術等を利用した集中管理など、高度化システムについての検討も実施します。



通常時における高度化システムの検討例



非常時における高度化システムの検討例

関連する業務提案

◆ 道路アセットマネジメント

道路施設の補修に対する効率的な投資方法として道路アセットマネジメントの実施を提案します。道路アセットマネジメントの導入により、道路施設の更新時期の平準化と費用の最小化を図りながら、対症療法型から予防保全型の道路管理への転換が可能となります。

関連実績

当社は、全国において国土交通省や地方自治体等における、新規道路開通箇所の道路維持管理方策の検討や既存の管理区間における維持管理の最適化検討等の実績があります。